

<i-CCD2_第1回 (410/12_ガイダンス配布資料) >

3 (4) 年次 全学域対象 「倫理・キャリア教育科目ー選択科目」

**「イノベティブ
総合コミュニケーションデザイン2」
(i- CC Design 2)**

及び

3大学 (電通大、農工大、東外大) 連携

「協働専門教育プログラム」

**PBL/PJ活動を通して、
実践的・革新的な職業人/技術者基礎力が身に付く**

<開講> 2018年10月4日(木) 5限(16時15分~)

<場所> 新C棟 403 教室 (303 教室)

i-CC Design 各担当教員

H30年度（後期） i- CC Design 担当教員

【取纏め担当教員】宇都雅輝 助教（後期）、前佛 栄（大学教育センター）客員教授

【学域/研究科専門教員】

情報学専攻（J）：末廣尚士教授（後期）、野嶋琢也准教授（通年）

田中健次教授（前期）

情報ネットワーク工学専攻（I）：鷲沢嘉一准教授（通年）

宇都雅輝 助教（後期）、西山 悠助教（前期）

機械知能システム学専攻（M）：稲葉 敬之教授、横井浩史 教授

基盤理工学専攻（S）：渡辺 昌良 教授, 山口 浩一 教授

【企業講師】（非常勤）

小野 俊之 講師（日立）、 黒田 幸明 講師（サイバー創研）

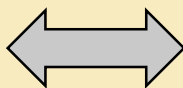
山口 典男 講師（ソフトバンク/PSソリューションズ）

【技術指導】 峯水 延浩（大学教育センター）教務補佐員

(1) 「i-CC Design 2」概要

＜趣旨＞「総合コミュニケーション科学」に立脚した国際標準を満たす基礎学力の上に、実践力に富み、社会価値共創力のある人材の育成

学生“主体”
PBL型プロジェクト



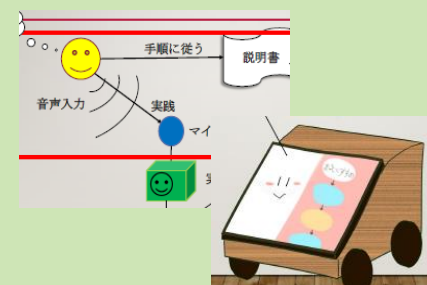
「モノ」創りを重視した
「モノ+こと」の共創
人 社会
IoT

＜PJ課題案＞ AI/ IoT/ Big-Dataを活用した「モノ+こと」創り:

(例1) ・IoT/Big-Data活用ユニークWebサイト（旅ログ 等）

(例2) ・電通大学習環境改善（新時間割アプリ、SNS、ユニーク学習）

(例3) ・AI/IoT活用教材開発（3D教材、子供向けプログラム教育 等）



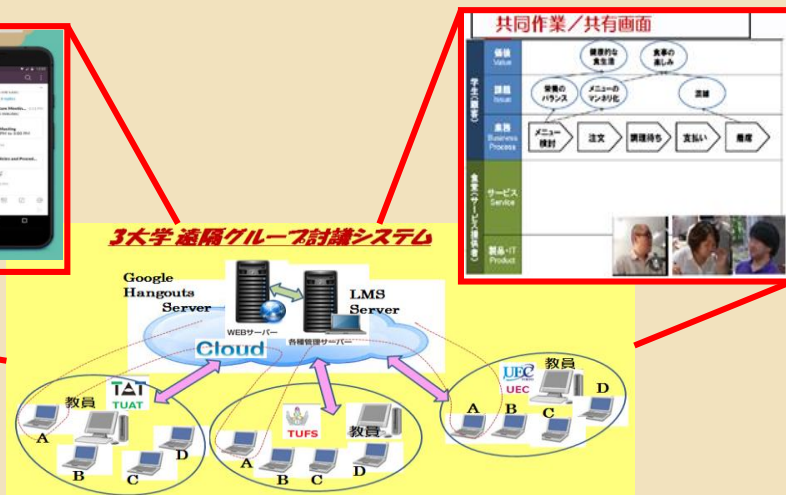
(2) 3大学「協働専門教育プログラム」概要

<趣旨> 専門の異なる三大学学生が**協働作業**を通し、

- 高度な理工系分野見識と、高度な文系コミュニケーション科学見識を融合し、
- 現代社会/地域が直面する課題（例えば、環境問題）を把握し、
- チームとして持続可能な課題解決に結付ける社会価値共創力を醸成

＜PJ課題＞コミュニケーションと協働を通して、社会貢献/価値共創のプロジェクトを企画：「**環境問題の解決に寄与するサービス**」

＜キーワード＞水、土壌汚染、大気汚染、騒音、ゴミ・リサイクル、食料、交通、生態系、気候変動、エネルギー



(3) 受講の留意点/メリット

- 社会ニーズを踏まえた「モノ+こと」創りプロジェクト活動に関心のある学域生（i-CCD1、起業に興味あるくベンチャービジネス概論＞、enPiT、GLTPコースの各受講者）是非、受講を！！
- プロジェクト毎に担当教員及び企業講師が議論に加わるので、将来、職業人/技術者として身に付けて置くべき“技術者基礎力”の体得が実感できる。
- プロジェクト活動の“出来具合”によっては、（ものづくり）コンテスト応募や学長特別表彰などに繋がる。
- 3大学「協働専門教育プログラム」（遠隔討議（主）とface-to-face討議の併用）と「i-CC Design 2」（face-to-face討議）の授業は併設（同時刻）ですが、前出のプロジェクト・テーマ案を参考にして、選択を。

<問い合わせ先：iccd-teacher@ce.uec.ac.jp>

PBL (Project Based Learning)型教育

目的に対する**自らの実現形態の構想**とその実現するための**課題・問題の設定**

学問的・技術的知識や既存技術の活用による**想像力**を駆使した**解決策の導出**

導出の結果についての**評価**（目的、目標に適合しているか）

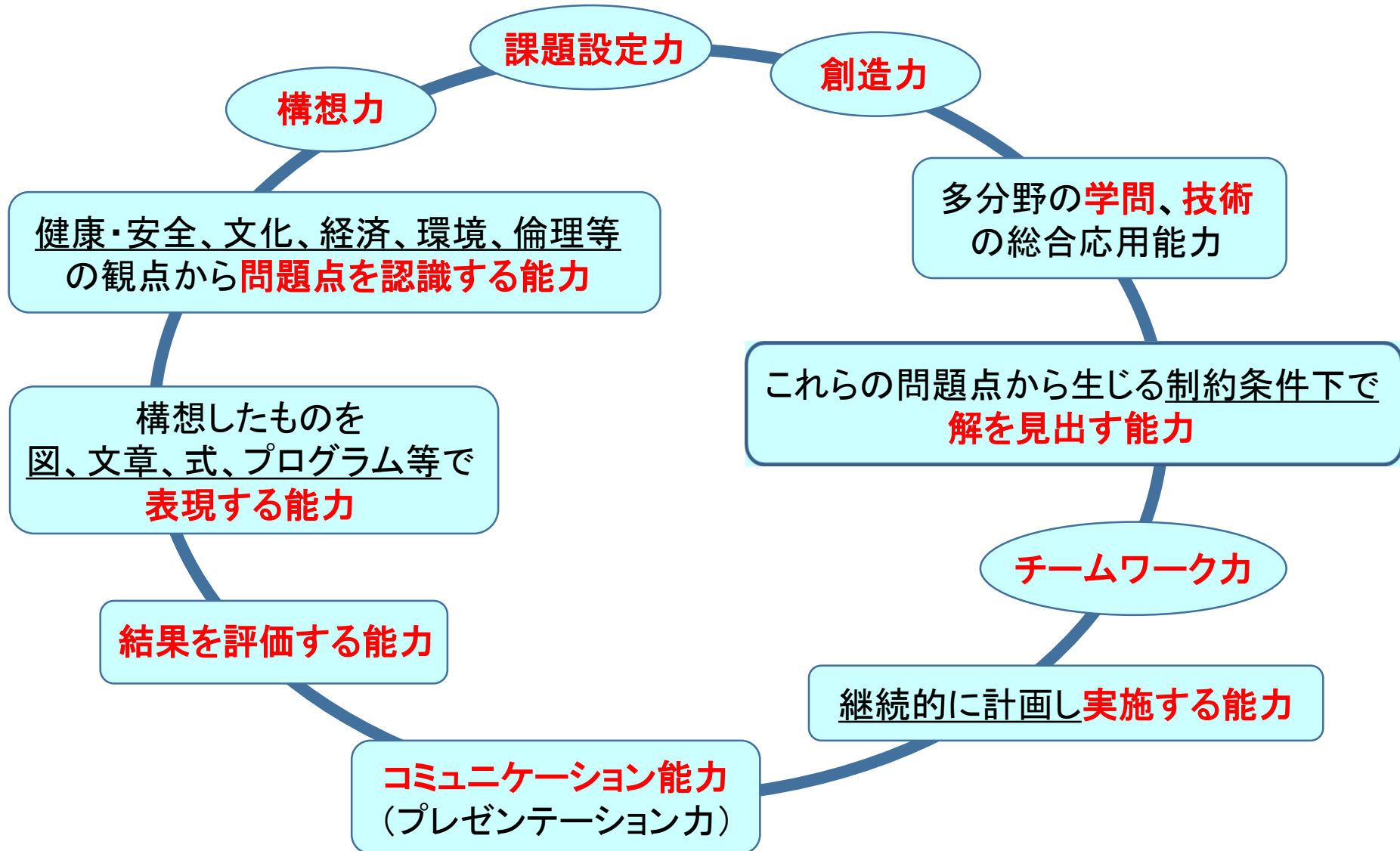
一連の内容の**報告書作成と発表**

PDCA (Plan Do Check Action)

健康・安全性、文化的、経済的、環境問題への配慮および倫理的観点から検討

PBL型教育は、総合コミュニケーションデザイン能力を育成することに役立つ

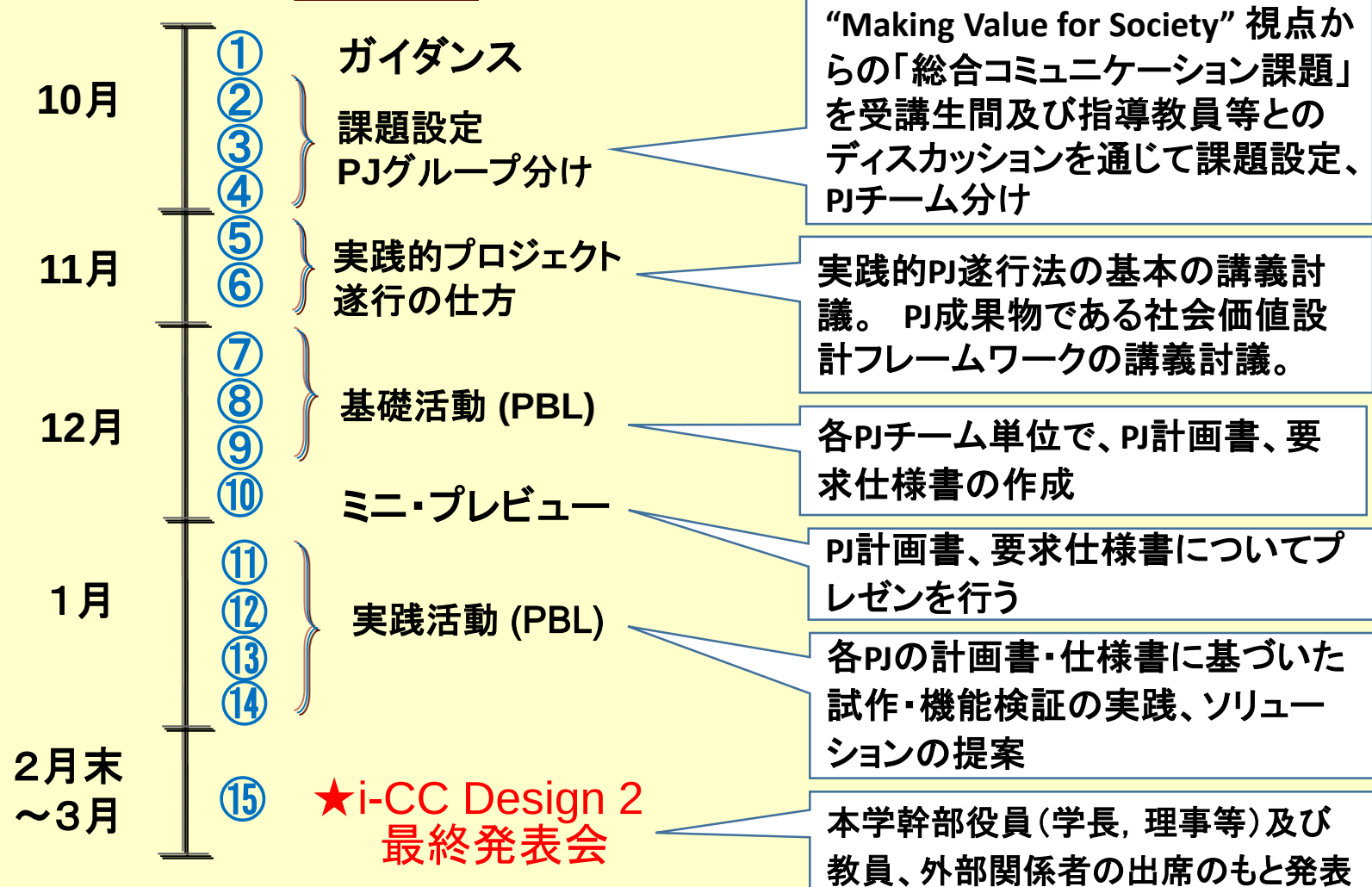
イノベティブ総合コミュニケーションデザインに求められる能力



イノベティブ総合コミュニケーションデザイン 2 (i-CC Design 2) 授業計画

後学期

2単位



(1)イノベティブ総合コミュニケーションデザイン 2 (i-CCD2)授業

・1回目(10/4) ガイダンス:本科目iCCデザイン2の概要説明

ガイダンスー“Making Value for Society”/実業に則した「総合コミュニケーション・デザイン」とは

・2回目(10/11) 総合コミュニケーション課題設定(1):

“Making Value for Society”(市場性)視点からの「総合コミュニケーション課題」を受講生間及び指導教員等とのディスカッションを通じて設定

・3回目(10/18) 総合コミュニケーション課題設定(2):

“Making Value for Society”(市場性)視点からの「総合コミュニケーション課題」を受講生間及び指導教員等とのディスカッションを通じて設定。課題設定に伴うPJチームの形成。

・4回目(10/25) 総合コミュニケーション課題設定(3):

“Making Value for Society”(市場性)視点からの「総合コミュニケーション課題」を受講生間及び指導教員等とのディスカッションを通じて設定。課題設定に伴うPJチームの形成。

・5回目(11/1) 「実践的プロジェクト遂行の仕方(1)」(講義)

総合コミュニケーション・デザイン・プロジェクト(PJ)にとって共通的に必要な実践的PJ遂行法(アイデア創生フレームワーク)の基本を講義。 また、PJ成果物である社会価値(サービス)設計フレームワークを講義

・6回目(11/8)「実践的プロジェクト遂行の仕方(2)」(講義・演習)

総合コミュニケーション・デザイン・プロジェクト(PJ)にとって共通的に必要な実践的PJ遂行法(アイデア創生フレームワーク)の基本、及びPJ成果物である社会価値(サービス)設計フレームワークを各PJの課題に沿って演習作成。

・7回目(11/15)「総合コミュニケーション・プロジェクト(PJ)」基礎活動(1)(PBL)

PJチーム単位で、設定課題に対するPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)を想定される”Value chain”を意識して作成を進める。

・8回目(11/29)「総合コミュニケーション・プロジェクト(PJ)」基礎活動(2)(PBL)

PJチーム単位で、設定課題に対するPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)を想定される”Value chain”を意識して作成を進める。

・9回目(12/6)「総合コミュニケーション・プロジェクト(PJ)」基礎活動(3)(PBL)

PJチーム単位で、設定課題に対するPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)を想定される”Value chain”を意識して作成を仕上げ、次回のミニ・プレビューの準備を行う。

・10回目(12/13)「ミニ・プレビュー(PJ計画書/要求仕様書(サービス設計書))」(PBL)

各PJチームより、設定課題に対するPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)についてプレゼンを行う。

・11回目(12/20)「総合コミュニケーション・プロジェクト(PJ)」実践活動(1)(PBL)

各PJチーム作成したPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)に基づき、試作/機能検証を実践し具体的なソリューション提案を進める。

・12回目(1/10) 「総合コミュニケーション・プロジェクト(PJ)」実践活動(2) (PBL)

各PJチーム作成したPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)に基づき、試作/機能検証を実践し、具体的なソリューション提案を進める。

・13回目(1/17) 「総合コミュニケーション・プロジェクト(PJ)」実践活動(3) (PBL)

各PJチーム作成したPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)に基づき、試作/機能検証を実践し、具体的なソリューション提案の完成度を高める。

・14回目(1/24) 「総合コミュニケーション・プロジェクト(PJ)」実践活動(4) (PBL)

各PJチーム作成したPJ計画書/要求仕様書(サービス設計書)に基づき、試作/機能検証を実践し、具体的なソリューション提案を完成させる。

・15回目(1/31: 正式には後日決定) iCCデザイン2発表会

(2) 授業の進め方

授業の中心はPBLによる課題解決である。PBLにより、技術者の最も重要な能力のひとつである「デザイン能力」を養う上で大きな効果をあげている。

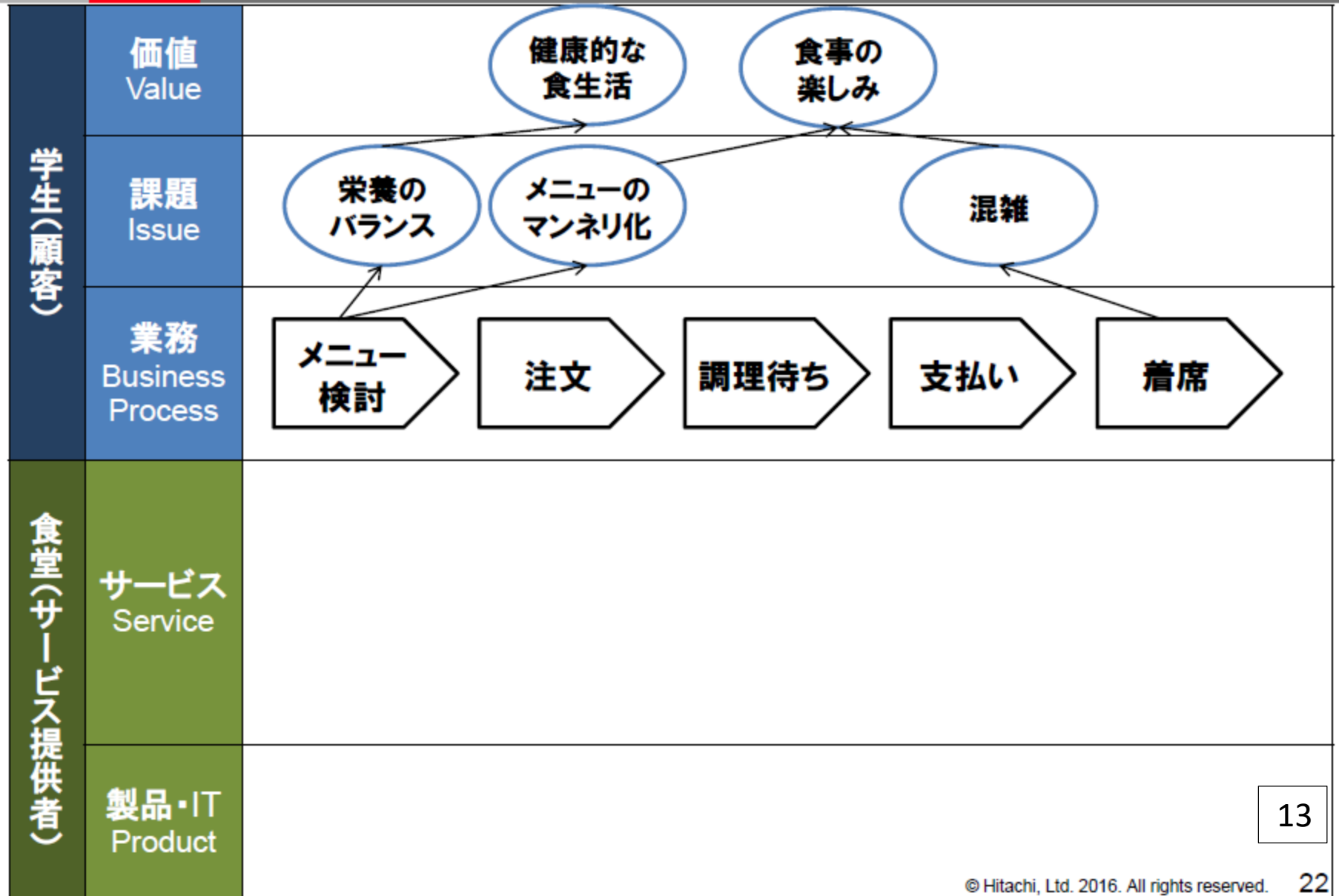
PBLの基本になっているプロジェクトによる課題解決は、企業での基本的な仕事の進め方であり、この授業によって技術者として仕事をしていく基本能力を養う。

成績評価方法および評価基準

〔評価方法〕 アウトカム評価をルーブリック評価指標に基づいて行う。
評価は、担当教員、企業講師、によるPJ日常活動／PJ成果物の評価、
外部有識者による評価、及び、受講生の自己評価も加味し、評価する。

- 〔評価基準〕** 以下の項目観点で、各項目5段階評価を総計して評価。
- (1) 講義での課題に対して、十分考察し結果をレポートにまとめることができること。
 - (2) PBLにおいて、講義で学んだことを応用し、課題に対して有効な結果を導き出すことができること。
 - (3) PBLにおいて、他と協調して目的を達する案を出し、計画的にそれを実現し結果を評価し、それを第三者に分かりやすく説明することができること。
 - (4) PBLで行ったことの報告者が、第3者に分かるように記述できること。
 - (5) 技術者倫理(情報リテラシー)の基本的な考え方を理解していること。

PJ遂行の基本スキーム：アイデア創生フレームワーク



★ 2018年度 i-CCD1発表会（資料）

旅ログ

～旅の日記作成&共有サービス～

電通大SNS

睡眠学習システムについて

音声認識による 子供向けプログラミング

電通大時間割アプリの提案

～より良い学生生活のために～



i-CCD1

階段で怪談



教室での利用を想定した
3Dデジタル理科サブ教材システム

★ 2018年度 i-CCD1発表会資料:

<http://www.ce.uec.ac.jp/projects/>

★ 2017年度 3大学連携PJ発表会（資料）

三都市観光マップアプリサービス

2020東京オリンピック
パブリックビューイング



東京オリンピックに向けた
三大学合同授業の実施

三大学の学生が主体となった団体の設置

これらを授業+課外活動とする



×



★ 2017年度 3大学連携PJ発表会資料:

<http://www.ce.uec.ac.jp/projects/>

「 i-CCDesign & ED 」プロジェクト一覧 (1)

年度	プロジェクト名
2017	Wi-Fi Domination
2017	AR活用した落書き
2017	りさじゅう具現化
2017	食堂混雑状況の可視化
2017	三都市観光マップアプリサービス
2017	オリンピックを盛り上げるために
2017	2020東京オリンピック パブリックビューイング
2017	東京オリンピックに向けた 三大学合同授業の実施
2016	外国にルーツを持つ子どものオンライン学習支援サービス
2016	プロジェクトTAMAMO
2016	iAMIGO
2016	小金井、府中、調布市への来日外国人へ快適な暮らしを
2015	将棋AI_PJ
2015	おすそ分け_PJ
2015	デジタルサイネージ
2015	きじSAN
2015	Drone_PJ
2015	エンタメ_PJ
2014	対戦型3Dブロック積みゲームの開発
2014	e-UEC 電通大に関するWeb情報ポータルサイト
2014	KaReRe Project お遣いクラウドソーシングサービス
2014	エリアワンセグの普及

年度	プロジェクト名
2014	歩きスマホ 禁止ではなく安全な利用法の提案
2014	生協前の混雑解消
2014	HDMIタブレット
2013	キャラクターを用いたエンジニアリングデザインの宣伝
2013	女子学生を増やそうPJ
2013	時間割搭載スケジュールアプリ
2013	HDMI@タブレット
2013	新しいレンタサイクルの提案
2013	調布ワンセグ
2013	調布市の観光活性化に向けた取組み
2012	Unique Electric notiCe board
2012	キャンパスまちセグプロジェクト
2012	スマートフォンアプリ”Grab!”
2012	10年後の家電品
2012	サークル棟の環境改善
2012	電力の見える化推進
2012	自転車のスリム化
2011	自転車のスリム化
2011	地元学生による調布市域の活性化支援(ワンセグ広報)
2011	光と風を使ったエコシステム
2011	夜の学内を歩きやすく

「i-CCDesign & ED」プロジェクト一覧 (2)

年度	プロジェクト名
2010	地域限定ワンセグ放送 U.E.Castプロジェクト
2010	学内交通環境改善の提案
2010	大学ホールの提案
2010	UEC知名度アップ
2010	学内の情報格差の解消
2009	Re-Cycleプロジェクト～放置自転車をなくして快適ライフ～
2009	学内食堂の環境改善(Intelligent Café)
2009	しあわせ防災計画
2008	学内防災(学生救援隊)
2008	迷わない電通大(QRコードを利用した学内案内)
2007	W8-131教室の環境改善システム
2007	学生生活を歩もう-Walk in The UEC-
2007	ゴミの分別とゴミ箱の新世代へ

★ ED/ i-CCD1,2/ 3大学連携協働PJの発表会資料:

<http://www.ce.uec.ac.jp/projects/>

最後に、付け加えて

皆さんの ” *i-CC Design* “ 受講メリット !!

- ★ 社会/企業が欲しがるような技術者基礎力を醸成できる
- ★ *i-CC Design* 担当教員との議論を通じ、卒論に対する取組姿勢に好影響を与える
- ★ 優れたPJ活動を実施すれば、学長特別表彰に繋がり、自己PRにも繋がる

連絡等

【イノベティブ総合コミュニケーションデザイン・ホームページ】

<http://www.ce.uec.ac.jp/iccd2018/>

【メールアドレス】

担当教員全体: iccd-teacher@ce.uec.ac.jp

宇都 雅輝: uto@is.uec.ac.jp

前佛 栄: sakae.zembutsu@crc.uec.ac.jp